



子どもたちが 世界を変える。 教育が 未来をつくる。

2015年9月、国連サミットで採択された

「持続可能な開発目標=Sustainable Development Goals (SDGs)」は
2030年の目標達成に向け、「行動の10年」に進んでいる。

小さな行動変容が緩やかにうねりを起こし、大きなインパクトとなって広がる現代。
地球の未来を担う次代のアクションは世界を動かすエネルギーへとつながっていく。

そこで、重要なファクターとなるのは教育だ。

子どもたちがSDGsの本質を理解し、持続可能な未来を築いていくために。

「持続可能な開発のための教育=

Education for Sustainable Development (ESD)」に取り組み、

さらなる広がりを見せる初等・中等教育の真価に迫る。



SDGs行動の10年

2020年1月、アントニオ・グテーレス国連事務総長の呼びかけで「行動の10年」がスタート。
2030年までの10年間で真に持続可能な社会を実現すべく、国際／国、地域、企業／
個人の3つのレベルにおけるアクションの加速化と対話による連携が求められている。

